

平成27年度(平成27年4月～平成28年3月)再資源化預託金等の運用の実績

1. 平成27年度の入出金及び運用可能額

入金及び繰越金 1,582億円				
預託金 新車購入時 475億円 引取時 4億円 (合計) 479億円		運用収入 106億円	債券満期償還金 883億円	前期からの繰越等 114億円
出金及び繰越金 559億円 メーカー等への払渡 340億円 輸出返還 188億円		運用可能額 1,023億円		
他会計への繰入金 1億円 *1 当年度流動性確保額 30億円 *2		国債 726億円 (91.4%)	政府保証債 69億円 (8.6%)	次期繰越額等 228億円 *3

*1 離島対策等支援事業のため、指定再資源化機関に対して1.32億円を出金した。

*2 突発的な預託金の出金の増加に対応するため、輸出返還金額(15億円/月)の2ヶ月分を流動性確保額とした。

*3 日本銀行による金融緩和策の影響から、取得対象の国債の利回りがマイナスとなり、平成28年2月及び3月は国債の取得を行わなかった。債券未取得額228億円については、一時的に銀行預金で運用し、次期繰越額等として取り扱った。

2. 平成27年度における新規取得債券の種別構成比

新規取得債券の種別構成目標と実績に差が生じることとなりましたが、平成27年度第4四半期債券取得計画で示した銀行預金も含む構成比に対しては目標のとおりとなりました。

債券種別	取得簿価 (億円)	構成比		銀行預金も 含む構成比
		実績	当初目標	
国債	726	91.4%	93.3%	71.0%
政府保証債	69	8.6%	6.7%	6.7%
小計(a)	795	100.0%	100.0%	-
銀行預金(b)	228	-	-	22.3%
合計(a)+(b)	1,023	-	-	100.0%

3. 平成27年度末における保有債券残高の年限別構成

10年ラダー型の資産構成という観点では、年限10年の債券残高と他の年限の債券残高との間に差が生じることとなりましたが、平成27年度第4四半期債券取得計画で示したとおり、預託金の払渡及び輸出返還等(平成27年度実績:559億円)に対して十分な残高があり、業務に影響は出ない範囲内であるため、問題ありません。

年限(平成27年度末基準)	1以下	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
償還年度	平成28	平成29	平成30	平成31	平成32	平成33	平成34	平成35	平成36	平成37	
保有債券簿価残高(億円)	895	895	895	895	895	895	895	896	895	794	8,848

※1 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

※2 詳細は第67回(平成28年6月7日開催)の資金管理業務諮問委員会資料「資料4-1」をご参照ください。